

2021年7月1日

National Center for Global Health and Medicine

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

国際医療協力局

【オブザーバー聴講のご案内】

オンラインコース

2021年度 第1回国際保健課題別講座 「低中所得国における医療の質・安全分野の技術協力」

開講日時：2021年7月17日（土）9:30 - 16:00

Microsoft Teams によるオンラインライブ講座

受講料：7,000円 ※学生 3,500円

※事前登録をお願いします。※報道関係の皆さまのオブザーバー聴講は、無料です。

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（略称：NCGM）国際医療協力局は、2021年7月17日（土）9:30 から 16:00 まで、2021年度 第1回国際保健課題別講座「低中所得国における医療の質・安全分野の技術協力」を開催します。

NCGM は『NCGM グローバル健康・医療戦略 2020』の目標の一つとして、グローバル人材の育成を掲げており、国際医療協力局もグローバルヘルスの潮流をリードできる人材の養成を『国際医療協力局 2030 ビジョン』実現のための重要な戦略としています。

国際保健課題別講座は、国際保健に関する研修のアドバンスコースとして、2018年度から開講しており、2021年度は少人数のオンラインによるライブ講座として開講します。

今回のテーマは、「低中所得国における医療の質・安全の技術協力」です。

日本において医療の質や安全に対する社会の関心が高まり、改善活動に積極的に取り組まれるようになって20年以上が経過しました。この間、医療現場で働く個人の責任に依存する風潮は、システムの改善に科学的に取り組む文化へと変容し、日本は国際的にも医療の質・安全の分野で蓄積された知見を提供する立場となりました。

事実、低中所得国において医療の質と安全に関する技術協力を実施する機会が増えてきています。そのなかには、対象国の医療の質を向上することを目的に「日本式医療」の導入を掲げて実施されているプロジェクトもあります。その一方で、「日本式医療」をそのまま「移植」することの是非が議論され、最善の成果をあげるために、対象国の事情や制度に配慮した医療システムを構築することの重要性も認識されるようになってきています。

本講座では、対象国の医療の質・安全の向上という目的を、技術協力というアプローチを通じて確実に成果につなげるために知っておくべき tips を共有することを企図しています。行政から病院を含め、医療の質・安全に関する技術協りに携わってきた専門家の経験と実例を題材に、技術協力の実践で活用できた視点やアプローチを共有し、低中所得国では何を念頭におきながら医療の質・安全分野の技術協力を進めていけばよいのか、参加者全員で学び合う機会にしたいと考えています。

2021年度第1回国際保健課題別講座「低中所得国における医療の質・安全の技術協力」の開催概要は、以下の通りです。

2021 年度 第 1 回国際保健課題別講座

低中所得国における医療の質・安全分野の技術協力

■ 開催概要

開講日時：2021 年 7 月 17 日（土）9:30～16:00

形 式：Microsoft Teams によるオンラインライブ講義

講師と当該テーマに関する直近の業務・業績等：

国際医療協力局

■ 村井真介（歯科医師）
むらいしんすけ

2017 年-2021 年

JICA ラオス保健医療サービスの質改善プロジェクト チーフアドバイザー

■ 神田未和（助産師）
かんだみわ

2019 年 4 月-2021 年 2 月

JICA ラオス保健医療サービスの質改善プロジェクト長期派遣専門家（看護管理）

■ 岩本あづさ（医師）
いわもと

2016 年 5 月-2020 年 5 月

JICA カンボジア分娩時及び新生児期を中心とした母子継続ケア改善プロジェクト (IINeoC)チーフアドバイザー

■ 森山潤（看護師）
もりやまじゅん

2017 年 1 月- 2019 年 10 月

JICA ベトナムチョーライ病院向け病院運営・管理能力向上支援プロジェクト専門家（医療安全/看護管理）

プログラム：

| | |
|-------------|--|
| 09:30-10:00 | 開校式 講師紹介 参加者自己紹介 |
| 10:10-10:30 | 総論：医療に取り入れられた質・安全の文化と技法 |
| 10:40-12:00 | 各論①：よい改善目標を見出すための視点 (講義 20 分、グループワークと意見交換 60 分) |
| 12:00-13:00 | 昼休み |
| 13:00-14:30 | 各論②：質改善活動を促すツールの効果的な導入の視点 (講義 30 分とグループワークと意見交換 60 分) |
| 14:40-15:30 | 各論③：質改善技術の普及戦略 (講義 20 分と意見交換 30 分) |
| 15:30-15:55 | まとめ・質疑応答 |
| 15:55-16:00 | 修了式 |

※報道関係の皆さまのオブザーバー聴講は、無料です。

- ・修了証書は発行されません。
- ・グループワークへの参加はできません。

■オブザーバー聴講にあたって：※事前登録をお願いします。

事前登録：下記アドレスに「2021年度第1回 国際保健課題別講座 低中所得国における医療の質・安全の技術協力」と明記し、

① 所属（会社名・媒体名・部署名） ②お名前 ③Email をご記入いただき、
7月14日（水）までにお送りください。Teams の招待メールを発行させていただきます。

E-mail : koho@it.ncgm.go.jp

※受講するために必要なパソコン、タブレット、スマートフォンなど通信機器、通信回線はご自身で
ご用意ください。

※推奨環境 【OS】 Windows、Mac 推奨

※ただし、最新版 Microsoft Teams が対応しているかを事前にご確認下さい。スマートフォンの
場合、グループワークの際に、ファイルの編集ができない可能性があります。

【ソフトウェア】 各 OS に対応した最新版の Microsoft Teams

<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/microsoft-teams/download-app>

【NCGM 国際医療協力局について】

NCGM 国際医療協力局は、保健医療分野における日本を代表する国際保健医療協力機関です。

厚生労働省や外務省、独立行政法人 国際協力機構（JICA）、世界保健機関（WHO）などと連携しながら、低中所得国の医療や保健衛生の向上を図るための支援を行っています。その一環として、グローバルに活躍できる保健医療人材の育成を目的に、国内外に向けにさまざまな講座や研修を提供しています。

★本件に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

国際医療協力局 広報情報課

昆 弘人（こん ひろと）

TEL : 03-3202-7181（代表）内線：2744、PHS：5525

E-mail : koho@it.ncgm.go.jp